DRUG INFORMATION

２０１５　Ｎｏ．９　　平成２７年３月１９日発行

大塚生食注 2 ポート 100mL の使用限定について

岐阜大学医学部附属病院・薬剤部
医薬品情報管理室
（内線７０８３）

※ Drug Information は医学部・附属病院 HP の下記アドレスにて提供しています。
http://www1.med.gifu-u.ac.jp/drug-info/

電子メールによる連絡を希望される方は下記までご連絡下さい。
di8931@gifu-u.ac.jp（担当：安田）

大塚生食注 2 ポート 100mL の使用限定について

3 月の薬事委員会にて『大塚生食注 2 ポート 100mL』(右写真)が当院で正式に採用となり、今後使用が開始されると思われます。つきましては、本剤の使用について連絡させて頂きます。

本剤は、粉末注射剤を混注するための「薬剤溶解用ポート」と患者に投与するときの「輸注用ポート」を有する製剤であり、注射用シリンジや注射針を使用せずに簡便に抗生物質製剤等の溶解および投与が可能な製剤です。その反面、本剤は後発品ではありますが、薬価は従来の採用品(113 円/本)に対し約 1.5 倍(169 円/本)と高いため、**すべての薬剤で使用すると病院全体の医療費が上がる**ことにもなります。

つきましては、本剤の使用については当面の間は、従来のキット製剤から切替で使用することとなった抗生物質製剤の**『セファゾリン Na 注射用 1g「NP」』**および**『セフメタゾール Na 静注用 1g「NP」』**の 2 製剤に限定して運用することと致します。また、医師の処方入力軽減を考慮して、原則としてクリニカルパスに登録された上記 2 製剤の処方に限定した運用と致します。

なお、薬剤部からの払出しについては、注射処方せんに基づいて各抗生物質製剤と共に払出しをすること致します(従来の大塚生食注 100mL のように物流オーダにてまとめての払出は致しません)。処方指示に基づいて必要本数のみを病棟に届けさせて頂きますので、投薬時には指示を確認のうえ該当の生食を使用して頂くようお願い致します。

ご不明な点につきましては、薬剤部・医薬品情報管理(内線 7083)あるいは注射薬管理室(内線 8312)までご連絡下さい。